



殿町国際戦略拠点 キングスカイフロント

Kawasaki INnovation Gateway at SKYFRONT

～世界に貢献するライフイノベーション・グリーンイノベーションの拠点形成～

川崎市川崎区殿町地区



街に、ルネッサンス



川崎市



UR都市機構

1. 殿町国際戦略拠点キングスカイフロントとは

羽田空港の南西、多摩川の対岸に位置する「川崎市殿町地区」の約40haに及ぶ開発エリアでは、ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「国際戦略拠点」の形成が進んでいます。

この国際戦略拠点は、平成23(2011)年3月、「キングスカイフロント(KING SKYFRONT)」と名付けられました。「KING」は「Kawasaki INnovation Gateway」の頭文字と「殿町」の地名に由来したもので、キングスカイフロントが日本の成長を牽引し、世界の持続的な発展に貢献する拠点であるという意味が込められています。

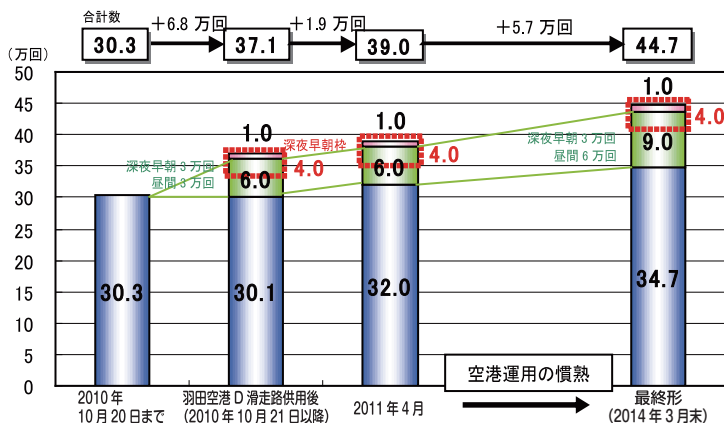
また、キングスカイフロントは京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の区域に指定されています。

キングスカイフロントの位置

キングスカイフロントは首都圏中心部、国際貿易港である京浜港を有する京浜臨海部に位置し、羽田空港にも近接しています。また、首都高速道路、東名高速道路、東京湾アクアライン、国道1号等の広域幹線道路網にも接続しており、多彩なネットワークを活用して、国内はもとより海外とのスピーディなアクセスが可能です。



羽田空港の発着回数(枠)



凡例

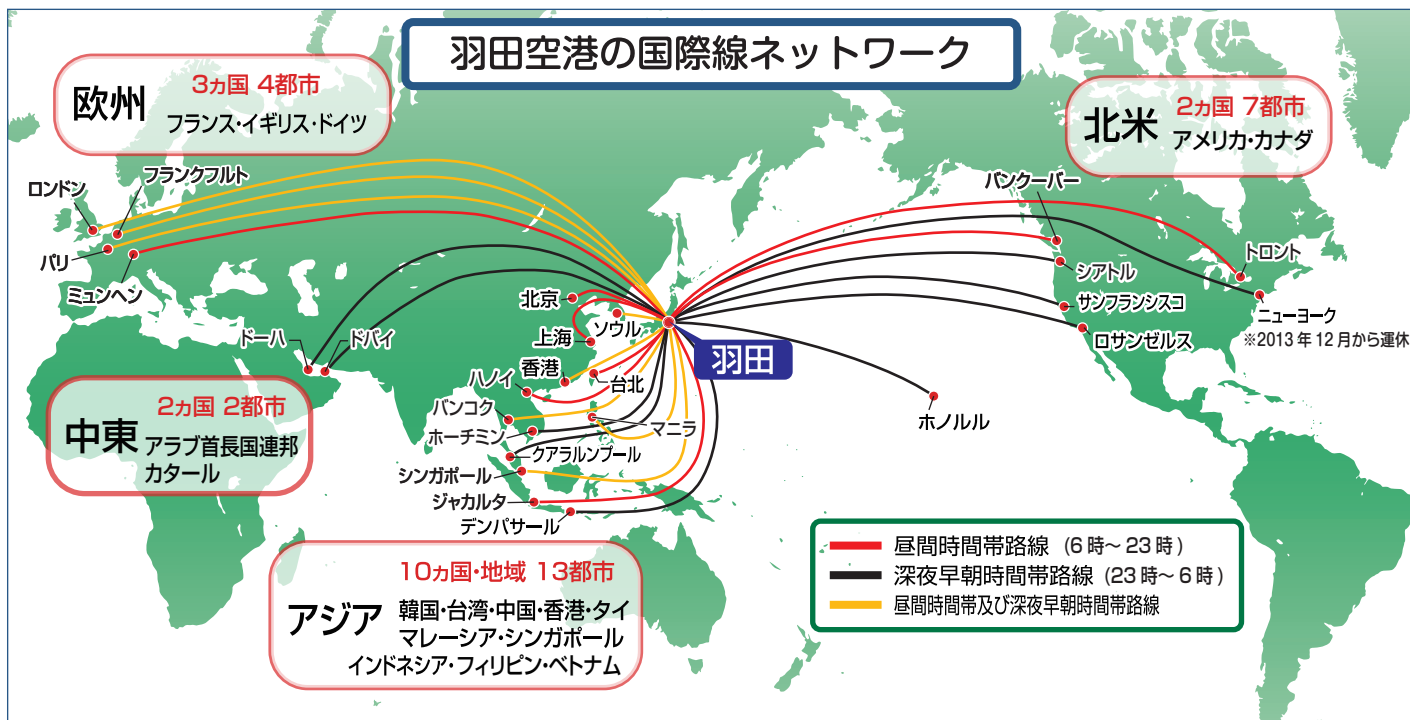
- 国内線
- 国際線
- チャーター便等

■ 羽田空港 就航先(国際線 昼間・深夜早朝合計) 2014年7月

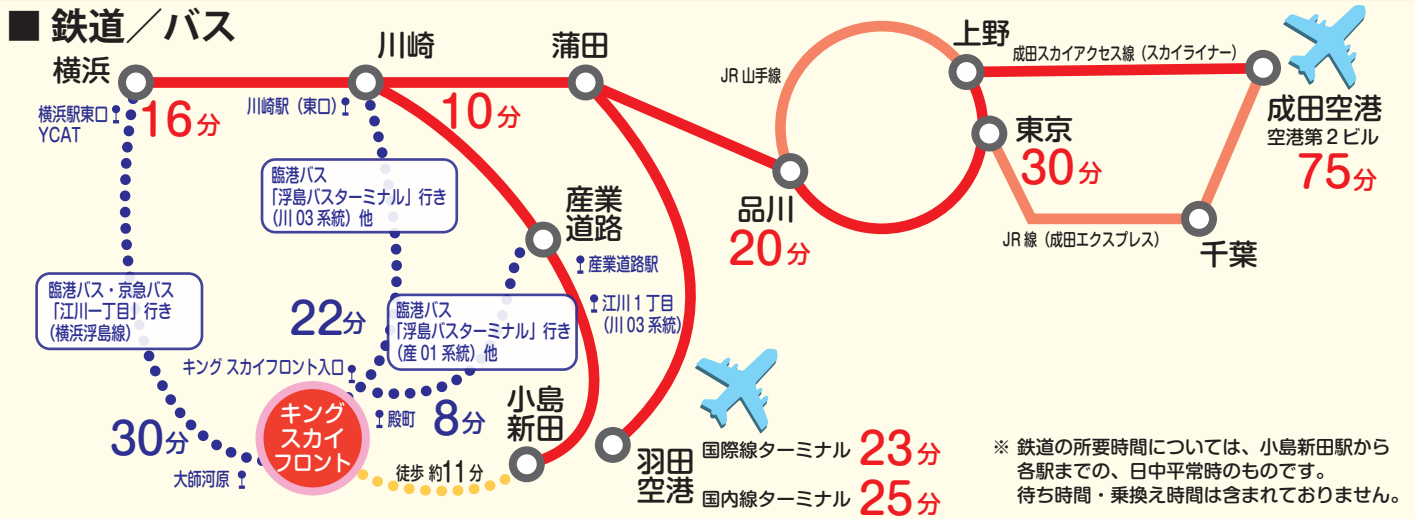
就航国・地域都市数	17カ国・地域 26都市
1日最大便数	87便/日*

* 2014年3月30日から拡大される発着枠(1日40便)のうち、二国間合意が整った31便を含む。

羽田空港の国際線ネットワーク



2. キングスカイフロントへのアクセス



羽田空港へのアクセス改善

羽田空港の24時間国際拠点空港化により、国内各地や海外との間で、人やモノ・情報の交流が一層活発化することが期待されます。

これを契機に、羽田空港を核として多摩川兩岸の地域が一体となって、まちづくりを展開し、京浜臨海部全体の発展につなげるため、羽田空港との連絡道路の整備促進に向け取り組んでいます。

※ 多摩川を渡河する連絡道路の整備に向けて、国や川崎市を含む関係自治体などにより、概略ルート（上流側・中央・下流側の3案 右図）や構造についての検討が進められています。



3. キングスカイフロントの都市計画と土地区画整理事業の概要

UR 都市機構、㈱ヨドバシカメラ及び川崎市等の所有地にあたる、都市計画の A・B 地区について、UR 都市機構と川崎市を施行者とした土地区画整理事業（殿町三丁目土地区画整理事業 約 23ha、平成 22（2011）年 3 月施行認可～平成 25（2013）年 9 月事業終了認可）を行い、平成 23（2011）年から順次、土地利用及び施設立地を進めています。

道路

国道 409 号から地区内を環状型に結ぶ幅員 18m の区画道路を整備しました。併せて、周辺市街地との調和のとれたまちなみ形成を図るため、現況道路の改良を行いました。

公園

多摩川沿いのオープンスペースの拠点形成を図るため、殿町第 2 公園（約 1.3ha）を整備しました。

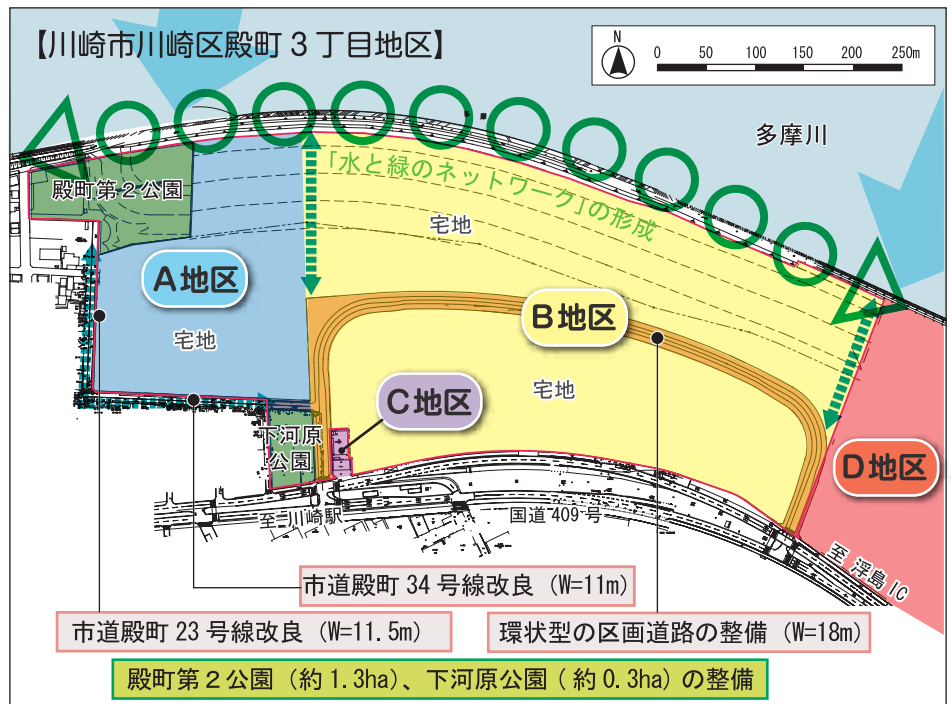
また、地区の玄関口を演出する下河原公園（約 0.3ha）を整備しました。さらに、河川敷と一体となった通路や市街地と河川を結ぶ通路、その結節点での広場施設として整備し、「水と緑のネットワーク」の形成を図ります。

高規格堤防（関連事業）

多摩川に沿った区域は、国土交通省により高規格堤防（スーパー堤防）整備がなされ、水害に強いまちとなりました。

各地区の主な導入機能

- A 地区** 研究開発、業務、商業、レクリエーション、交流機能等
- B 地区** 環境、健康・福祉・医療等の研究開発、業務、臨空関連機能等
- C 地区** 公共的機能、臨海部に立地する企業への支援機能等
- D 地区** 臨空関連、物流（流通加工）、これらと連携した賑わい・交流、研究開発等



4. キングスカイフロントの整備スケジュール

		H25 (2013) 年度	H26 (2014) 年度	H27 (2015) 年度	H28 (2016) 年度
関連状況	羽田空港国際線旅客ターミナルビル	拡張部暫定供用	本格供用		
	産業道路駅前バス交通広場	計画検討～整備			
	羽田連絡道路	計画検討～整備			
キングスカイフロントの整備	基盤整備	土地区画整理事業（施行者：UR 都市機構・川崎市）			
	施設立地	順次募集、譲渡等			
	国立医薬品食品衛生研究所	施設整備			事業運営
	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)	施設整備	事業運営		
	(公社)日本アイソープ協会	施設整備			事業運営
	神奈川県ライフバージョンセンター(仮称)	施設整備			事業運営
	クリエートメディック(株)	施設整備			事業運営
	中核施設	実中研 再生医療・新薬開発センター	事業運営		
川崎生命科学・環境研究センター (LiSE)	事業運営				
(仮称)ものづくりナノ医療イノベーションセンター (iCoN)	施設整備		事業運営		

5. キングスカイフロント形成のイメージ

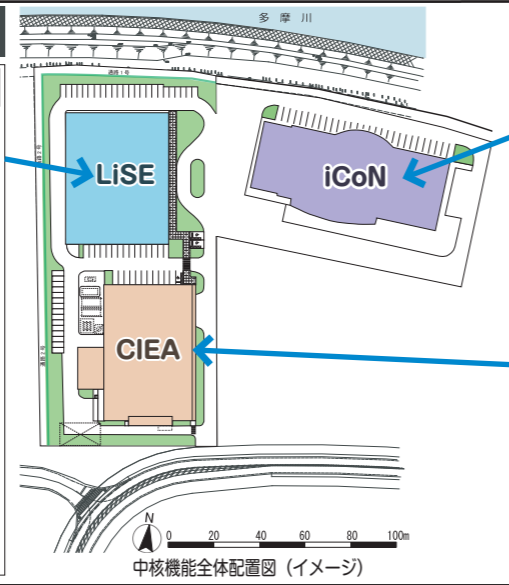


中核機能

川崎生命科学・環境研究センター (LiSE)

官民の複合施設として整備。平成25(2013)年3月運営開始
敷地面積：約7,000㎡ 延べ面積：約11,400㎡

- 研究開発機関、企業・大学等向け入居施設(民間ラボ) (4階)
※(公財)神奈川科学技術アカデミー(KAST)、株式会社エスエルエム(株)天然素材探索研究所が入居
- 川崎市環境総合研究所(KERI) (3階)
環境に関する総合的な研究を行う拠点
- 川崎市健康安全研究所(2階)
健康危機管理に対応する科学的・技術的中核施設
- 川崎市海外ビジネス支援センター(KOBS) (1階)
海外展開を目指す市内の中小企業を支援する拠点
- 共用会議室・ホール (1階)
- カフェ「モトヤクスプレス・フォルテ」(1階)
障害者就労支援施設のカフェ



(仮称)ものづくりナノ医療イノベーションセンター (iCoN)

企業、大学が一つ屋根の下に集い研究開発を行う、アンダー・ワンルーフ体制のもと、ナノ技術などを活用した工学と医学の融合により、がんをはじめとする難治性疾患などの診断・治療を実現

敷地面積：約8,000㎡
延べ面積：約9,500㎡
階数：4階建て
運営開始：平成26(2014)年度中



実中研 再生医療・新薬開発センター (公財)実験動物中央研究所

世界初の遺伝子改変霊長類等の開発や、その実用化モデルとiPS細胞を使った再生医療の研究を進め、脊髄損傷、アルツハイマー治療を実現することにより、人々の健康に貢献

敷地面積：約6,000㎡
延べ面積：約11,500㎡
階数：5階建て
運営開始：平成23(2011)年7月



国際線地区の整備

○国際線旅客ターミナルビル

- ・敷地面積：約13万㎡
- ・平成22年10月21日供用開始
- ・拡張部平成24年10月着工、平成26年3月末暫定供用開始
- ・平成26年9月末本格供用開始予定

- ・主な施設：
 - ◇ターミナルビル
延べ面積：約23.6万㎡
地上5階建
固定スポット18スポット
オープンスポット10スポット
 - ◇駐車場
延べ面積：約8.6万㎡
地上9階建
約3,000台収容



東京国際空港ターミナル(株)提供

○国際線貨物ターミナル

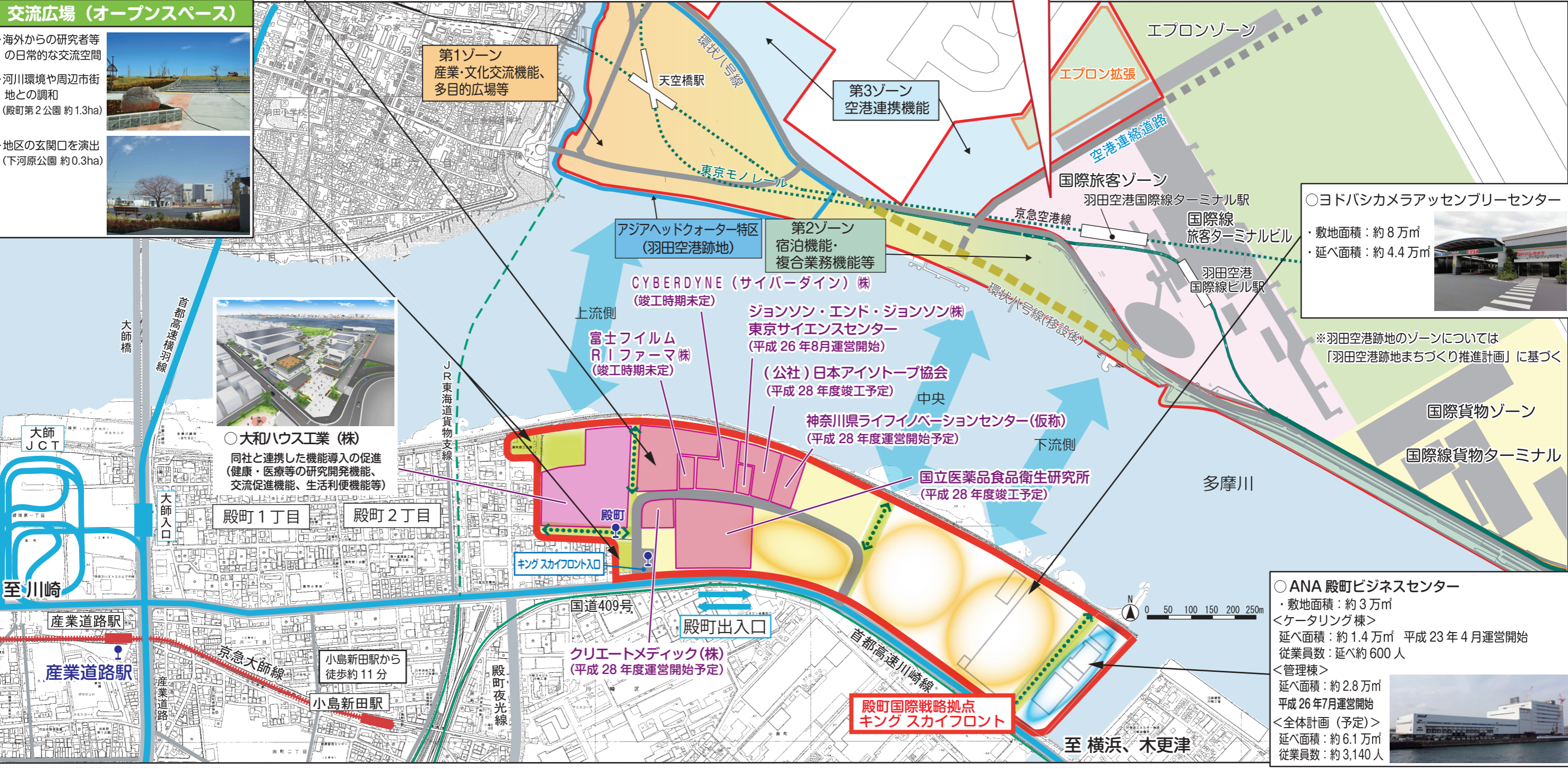
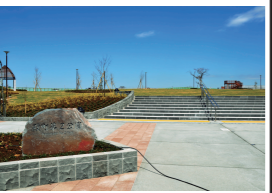
- ・敷地面積：約17万㎡
- ・主な施設：貨物上屋、生鮮上屋、燻蒸施設等
メディカルゲートウェイ(医薬品専用施設)
- ・貨物取扱量：最大50万トン/年
- ・平成22年10月21日供用開始



東京国際エアカーゴターミナル(株)提供

交流広場 (オープンスペース)

- ・海外からの研究者等の日常的な交流空間
- ・河川環境や周辺市街地との調和(殿町第2公園 約1.3ha)
- ・地区の玄関口を演出(下河原公園 約0.3ha)



第1ゾーン
産業・文化交流機能、
多目的広場等

第3ゾーン
空港連携機能

第2ゾーン
宿泊機能・
複合業務機能等

○ヨドバシカメラアッセンブリーセンター

・敷地面積：約8万㎡
・延べ面積：約4.4万㎡



※羽田空港跡地のゾーンについては「羽田空港跡地まちづくり推進計画」に基づく

○ANA 殿町ビジネスセンター

・敷地面積：約3万㎡
<ケータリング棟>
延べ面積：約1.4万㎡ 平成23年4月運営開始
従業員数：延べ約600人
<管理棟>
延べ面積：約2.8万㎡
平成26年7月運営開始
<全体計画(予定)>
延べ面積：約6.1万㎡
従業員数：約3,140人



殿町国際戦略拠点
キングスカイフロント

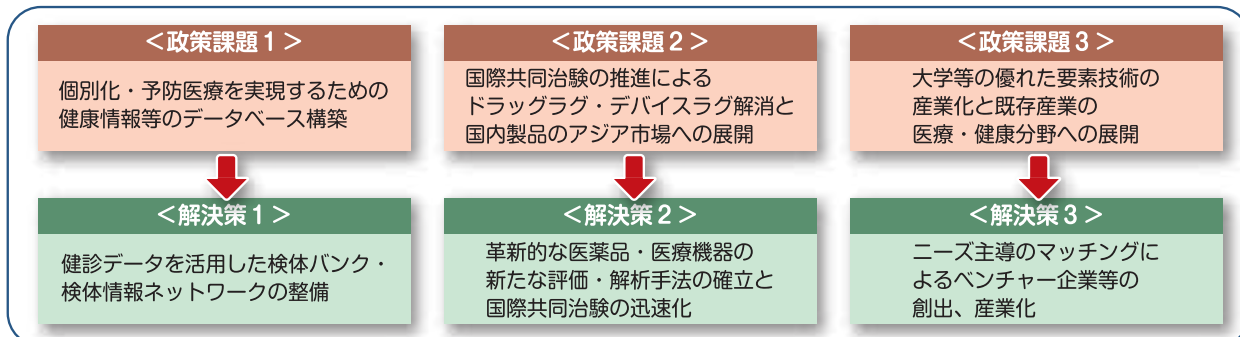
6. 国際戦略拠点形成の推進について

キングスカイフロントでは、ライフサイエンス・環境分野の世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「国際戦略拠点」の形成を進めています。

● ライフサイエンス分野

- ・ 国家戦略特区を活用し、創薬等のイノベーション拠点の形成を推進
- ・ 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の中心的な拠点

個別化・予防医療時代に対応した、革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出を推進



● 環境分野

川崎市環境総合研究所及び臨海部に立地するエネルギー・資源循環など、先端的な環境分野に取り組む企業などの集積を活かした拠点形成を推進

7. 拠点形成を推進する支援制度

【国際戦略総合特別区域に指定（平成 23（2011）年 12 月）】

国際戦略総合特区とは・・・「我が国の経済成長のエンジンとなる産業・機能の集積拠点の形成について先駆的取組を行う実現可能性の高い区域」として国が指定するものです。

■ 支援内容

- ① 規制の特例措置
 - ・ 法律、政令、省令等で定められている規制の特例措置を活用することが可能
 - ・ 地域の実情に合わせたオーダーメイドの特例措置の追加が可能（※特例処置の内容は、国と協議を行い決定）
- ② 税制上の支援措置
 - ・ 国際競争力強化のための法人税の軽減
- ③ 財政上の支援措置
 - ・ 総合特区計画の実現を支援するため、各府省庁の予算制度を重点的に活用
 - ・ 総合特区推進調整費により、なお不足する部分を補完
- ④ 金融上の支援措置
 - ・ 総合特区計画事業の実施者が、金融機関から必要な資金を借り入れる場合に、総合特区支援利子補給金を支給

【特定都市再生緊急整備地域に指定（平成 24（2012）年 1 月）】

特定都市再生緊急整備地域とは・・・「都市の国際競争力の強化を図る上で特有効な地域」として、都市再生緊急整備地域のうちから国が指定するものです。

■ 支援内容

- ① 官民連携による整備計画
- ② 道路の上空利用のための規制緩和
- ③ 民間都市開発プロジェクトの認定の迅速化（大臣認定の処理期間を短縮（3ヶ月→45日））
- ④ 税制支援（大臣認定を受けた優良な民間都市開発プロジェクトについて、税制支援を深掘り）

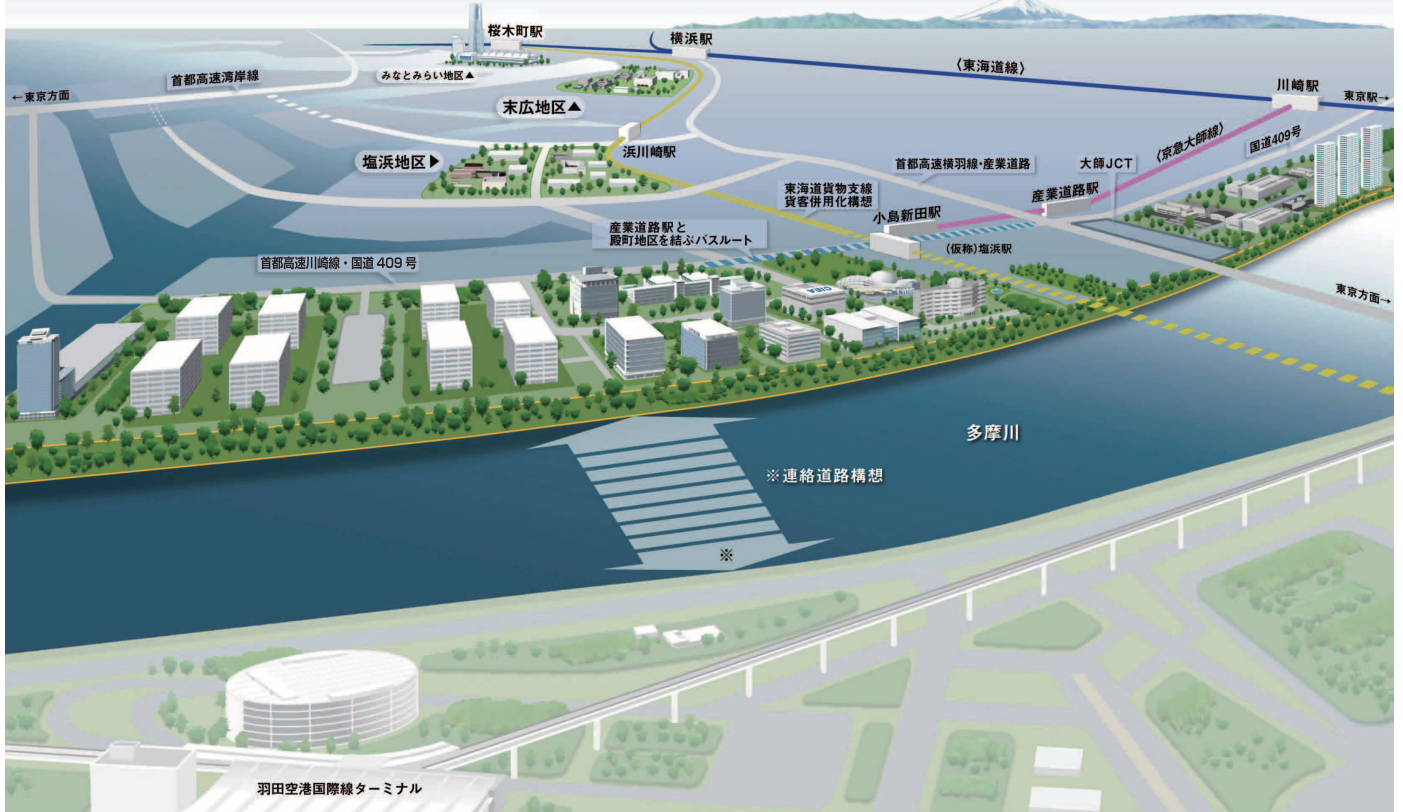
【国家戦略特別区域に指定（平成 26（2014）年 5 月）】

国家戦略特区とは・・・「産業の国際競争力を強化するとともに、国際的な経済活動の拠点の形成を促進する区域」として国が指定するものです。

■ 支援内容

- ① 規制の特例措置（国家戦略特区計画の内閣総理大臣の認定により、規制の特例措置を適用）
- ② 金融支援（ベンチャー企業等の先駆的な事業に必要な資金の貸付けに対し、利子補給金を支給）
- ③ 税制による支援（設備投資減税、研究開発税制の特例、固定資産税の特例等）

殿町国際戦略拠点(キング スカイフロント)将来イメージ図



お問い合わせ先

川崎市

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

総合企画局臨海部国際戦略室

TEL : (044) 200-3690

URL : <http://www.king-skyfront.jp> (キング スカイフロント 公式ウェブサイト)

独立行政法人都市再生機構

〒163-1315 新宿区西新宿6-5-1

新宿アイランドタワー 15階

東日本都市再生本部事業推進部業務推進チーム

TEL : (03) 5323-0446

URL : <http://www.ur-net.go.jp/tonomachi/> (殿町3丁目地区における拠点整備)